

ねりまつうしん

ねんあきごう
2025年秋号

た げん ご じょうほう し えんいん えいごたんとう
多言語 情報支援員(英語担当)

たかはら すすむ
高原 進



にほん ゆうめい あきまつ 日本の有名な秋祭り

にほん あき くうき す き も よ てんき きおん たの きせつ あきまつ むかし つづ いべんと
日本の秋は空気が澄んでいて気持ち良い天気や気温を楽しめる季節です。秋祭りは昔から続くイベントで、

しゅうかく かみさま かんしゃ おも こ おお ぜんこくかくち おこな ちいき こせいてき でんとう ぶんか あじ
収穫を神様に感謝する思いが込められたものが多く、全国各地で行われます。地域の個性的な伝統や文化を味

わうことができて、地域の人々や観光客に親しまれています。そこで今回、そんな季節を感じられる全国の秋祭りを

しょうかい がつ きしわだ まつ がつ ながさき きょうと じだいまつり がつ とうきょう とり いち
紹介します。9月の岸和田だんじり祭り、10月の長崎くんち、そして京都の時代祭、11月の東京の酉の市です。そ

れぞれの祭りから日本の秋を楽しんでください。



ねじりはちまきに はっぴ姿

きしわだ まつ え じだい ねん ねん ちゅうき ねん ごこくほうじょう ねが はじ おおさか
「岸和田だんじり祭り」は、江戸時代(1603年～1868年)中期、1703年、五穀豊穰を願って始まったとされ、大阪

きしわだし ねんいじょう つづ あき まつ ねん がつ にち じゅうよつか おこな おも とん
岸和田市で 300年以上、続いてきた秋の祭りです。2025年は9月13日と14日に行われました。重さ4トンもあるだ

んじりを「ねじりはちまき」に「はっぴ姿」の若い人たちが元気よく引っぱって町の中を走ります。そのだんじりの上(

ちじょうやく めーとる りょうて も おど だいくがた ちゅうもく と あ からだ む か
地上約4 m)で両手に「うちわ」を持って踊る大工方をみんなが注目します。跳び上がって体の向きを変えたり、

りょうて ひろ かたあし た ひこうきの み こうさてん ちょっかく ま
両手を広げ片足で立つ「飛行機乗り」はぜひ見てほしいです。だんじりが交差点を直角に曲がる「やりまわし」や

しゃりん すばや かいてん わざ も あ
車輪を、きしませながら素早くだんじりを回転させる技にいちばん盛り上がります。

【だんじり】まつ まち なか ひ ある き つく おお くるま ちょうこく こま
お祭りのときに町の中を引いて歩く、木で作られた、大きくてきれいな車のこと。彫刻が細かくてとても

ごうか
豪華。

【五穀豊穰】お米や麦などの作物がたくさん育って、みんなが食べ物に困らないように願うこと。

【大工方】だんじり祭りでだんじりの上に乗って、太鼓をたたいたり、みんなに合図を出したり、とても大切な役割を

する人たちのこと。昔は、だんじりを作る大工さんが乗っていたことから、このように呼ぶようになった。

長崎くんちは、長崎の氏神「諏訪神社」の秋祭りで、毎年10月7日から3日間、町の人々が協力して行う大きな祭

りです。1634年に、二人の女性が神様の前で「小舞」という感謝の気持ちを込めて踊った踊りが長崎くんちの始まり

と言われています。くんちの言葉は、旧暦9月9日に長生きを祝う中国の風習が伝わり、9日を「くんち」と読み、祭り

の日としたと言われています。日本の重要無形民俗文化財とされており、まるで外国にいるような気分になる出し

物が特徴です。ポルトガルやオランダなど外国文化の影響を受けた「奉納踊」は、龍が美しく踊る「龍踊」や傘鉦と

呼ばれる豪華な飾りをつけた多くの人が歩き、とても力強く心に残ります。その年に「奉納踊」を見せる町が決まっ

ていて「踊町」と言います。現在、長崎市内には合計58町があり7組に分かれています。7年で一回りするので、

長崎くんちの踊りを全部観るには7年間かかります。



【氏神】自分が住んでいる場所を守ってくれる神さまのこと。

【旧暦】現在のカレンダー（新暦）は「太陽の動き」で作られているが、「月の動き」で作られていたカレンダーのこと。

【重要無形民俗文化財】日本の大切な昔からの行事や習慣を、国が守ろうとしているもの。

【奉納踊】神さまに「ありがとう」や「お願いします」の気持ちをこめて、踊りを見せること。

【傘鉦】お祭りで使う、大きな傘の形をした飾り物。神さまを迎えるための目印や、道を清めるために使われる。

時代祭は、10月22日に行われます。京都が首都になって1100年を記念するために始まりました。京都で

有名な三つの祭りのうちのひとつで、歴史を感じることができます。約2000名の人々が、昔の服や道具を身に付けて

きろめ一とる ぎょうれつ つく きょうと まち ある ぎょうれつ へいあんじだい ねん ねん めいじじだい ねん
2 km の行列を作って、京都の町を歩きます。行列は、平安時代(794年～1185年)から明治時代(1868年～

ねん じだい ひと で はな おだのぶなが むらさきしきぶ にほん れきし ゆうめい
1912年)まで、いろいろな時代の人が出てきて、とても華やかです。織田信長や紫式部など日本の歴史で有名な

ひと で ふく どうぐ れきし くわ しら つく じだい い きぶん
人たちも出てきます。服や道具は歴史を詳しく調べて作っていて、その時代に行ったような気分になることができます

じだいまつり きょうと れきし ぶんか あらた し つぎ じだい つた たいせつ やくわり きょうと でんとう
す。時代祭は、京都の歴史と文化を改めて知り、次の時代へ伝える大切な役割があります。また、京都の伝統

こうげい そ もの わざ まも たいせつ まつ
工芸や染め物の技を守るためにもとても大切なお祭りです。

おだのぶなが せい き だいはう たたか りーだー
【織田信長】16世紀を代表する戦いのリーダー。

むらさきしきぶ へいあんじだい げんじものがたり ゆうめい はなし か おんな ひと
【紫式部】平安時代に「源氏物語」という有名なお話を書いた女の人。

でんとうこうげい むかし にほん つく とくべつ わざ つか てづく
【伝統工芸】昔から日本で作られてきた、特別な技を使った手作りのもの。



むらさきしきぶ
紫式部



おだのぶなが
織田信長

とり いち にほん かくち やまとたけるのみこと かみさま おおとりじんじゃ まいとし がつ とり ひ おこ うん よ
「酉の市」は日本各地の日本武尊を神様とする 鵜神社で毎年11月の酉の日に行なわれます。「運が良くなり

しょうばい ねが おおさか おおとりじんじゃ はじ え ど じだい
ますように」「商売がうまくいきますように」とお願いします。大阪の大鳥神社から始まりましたが、江戸時代から

え ど いま とうきょう しゅうへん ちいき も あ えんぎくまで ゆうめい とうきょうあさくさ とり いち
江戸(今の東京)周辺の地域で盛り上がりました。縁起熊手がとても有名な東京浅草の酉の市は、「おとりさま」と

よ した
呼ばれて、親しまれています。

やまとたけるのみこと むかし にほん つよ ゆうき おうじ てき くに まも ひと
【日本武尊】昔の日本で、強くて勇気のある王子。たくさんの敵をたおして国を守った人。

とり ひ むかし か れん だー どうぶつ あらわ とり ひ
【酉の日】昔のカレンダーは12の動物で表していて、「酉」にあたる日のこと。

えんぎくまで まつ う かざ くまで かね あつ どうぐ
【縁起熊手】お祭りで売られている飾りのついた熊手のことで、しあわせやお金を集める道具とされている。



えんぎくまで
縁起熊手



じんじゃ
神社

じぎょうすいしんがかり 事業推進係からのお知らせ

ぶんかこうりゅう <文化交 流ひろば情 報コーナーをご利用ください>

にほんごがくしゅう じょうほう がいこくじん せいかつじょうほう たげんご ていきょう
日本語学 習の情 報や外国人のための生活 情 報などを多言語により提 供 します。

ばしょ ねりま く ぴかり おか
【場所】 練馬区 光 が丘 3-1-1

でんわ
【電話】 03-3975-1252

かいせつにちじ へいじつ ごぜん じ ごご じ ど にち しゅく ごご じ じ
【開設日時】 平日（午前10時～午後1時）、土・日・祝（午後1時～4時）

ねんまつねんし ぶんかこうりゅう きゅうかんび のぞ
※年末年始など「文化交 流ひろば」休 館 日を除く

たいおうげんご えいご か もく ど ちゅうごくご すい きん にち かんこくご げつ
【対応言語】 英語（火・木・土）、中国語（水・金・日）、韓国語（月）

た げんご と あ
※その他の言語はお問い合わせください。

がいこくごそうだんまどぐち りょう <外国語相談窓口をご利用ください>

ちいきしんこうかじぎょうすいしんがかり えいご ちゅうごくご かんこくご た が ろ ご にほんご そうだん
地域振興課事業推進係では、英語・中国語・韓国語・タガログ語・日本語でいろいろな相談がで
きま
す。電話での相談も受け付けます。

ばしょ ちいきしんこうか くやくしよほんちようしゃ かい ねりまくとよたまきた
【場所】 地域振興課（区役所本 庁 舎9階） 練馬区豊玉北 6-12-1

でんわ
【電話】 03-5984-4333

かいせつにちじ へいじつ ごご じ じ
【開設日時】 平日（午後1時～5時）

たいおうげんご えいご げつ きん ちゅうごくご げつ きん かんこくご きん た が ろ ご げつ
【対応言語】 英語：月～金、中国語：月～金、韓国語：金、タガログ語：月

た げんご と あ
※その他の言語はお問い合わせください。

にほんじん がいこくじん こうりゅう い べん と かいさい くわ <日本人と外国人が交 流できるイベントなどを開催しています。詳しくはこちら>

く こうしき
【区公式HP】 <https://www.city.nerima.tokyo.jp/gaikokunohitomuke/bunka.html>

こーど
【QRコード】 

ねりまうちいきしんこうかじぎょうすいしんがかり
練馬区地域振興課事業推進係
〒176-8501

ねりまくとよたまきた
練馬区豊玉北 6-12-1
ねりまぐやくしよほんちようしゃ かい
練馬区役所本 庁 舎9階

でんわ
電話 03（5984）4333

e-mail: CHIIKI17@city.nerima.tokyo.jp

へんしゅう ぶんかこうりゅう
編 集：文化交 流ひろば
ひかり おか
（光 が丘 3-1-1）

たげんごじょうほうしえんいん
多言語情 報支援員

たかはら すすむ えいごたんとう
高原 進 （英語担当）

さとう ゆきえ ちゅうごくごたんとう
佐藤 雪恵 （中国語担当）

きん みんひ かんこくごたんとう
金 民熙 （韓国語担当）

Autumn, 2025

Information Desk Support Staff (English)

TAKAHARA Susumu

Daikugata



Danjiri

Famous Autumn Festivals in Japan



Dressed with twisted headbands and in a "happi" coats.

Japan's autumn is a season where you can enjoy refreshing weather and temperatures with clear air. *Aki Matsuri* or autumn festivals are traditional events, many of which thank the gods for the harvest, and they are held all over the country. You can savor the unique traditions and cultures of each region, that are also popular with local people and tourists.

Here, we would like to introduce autumn festivals in the country that get you to feel the season: the *Kishiwada Danjiri* Festival in September, the *Nagasaki Kunchi* and *Jidai* Festival in Kyoto in October, and the *Tori-no-Ichi* in Tokyo in November. Please experience the Japanese autumn through each of these festivals.

The *Kishiwada Danjiri* Festival is an autumn festival that has continued for over 300 years in Kishiwada City, Osaka. It is said to have originated in 1703, in the mid-Edo period (1603–1868), to *Gokoku Hōjō*. In 2025, the festival was held on 13th and 14th of September. Young people, with *hachimaki* or twisted headbands and *happi* jackets, energetically pull the four-ton *danjiri* floats and race through the town. Everyone's attention is focused on the *Daikugata* or master carpenters who dance atop the *danjiri*, that is about four meters high, while waving fans in both hands. Please make sure, you should watch them leap and spin their bodies, as well as the move called *Hikōki-nori* or acting like he's flying on a plane, where they spread both arms and stand on one leg. The festival reaches its climax with the *Yarimawashi* — a typical way the *danjiri* turns a street corner at a right angle — and the quick and masterful turn of the *danjiri* with the wheels squeal.

【Danjiri】 A large, elaborately carved wooden float pulled through the streets during a festival. The carvings are intricate and very luxurious.

【Gokoku Hōjō: bumper crop and abundant harvest】 A prayer for a bountiful harvest of crops like rice and

wheat, so that everyone has enough food.

【Daikugata: Master Carpenter】 The people who play an important role in the Danjiri Festival, riding atop the danjiri, beating drums and giving signals to the others. They are called this because in the past the carpenters who built the danjiri were the ones who rode on it.

The *Nagasaki Kunchi* is the autumn festival of *Suwa Shrine*, a shrine in Nagasaki dedicated to *Ujigami*, and is a major event held by the townspeople collaboration for three days every year starting on October 7th.

The *Nagasaki Kunchi* is said to have begun in 1634, when two women performed a dance called *Komai* or small dance before the gods to express their gratitude. The word *Kunchi* is believed to come from the Chinese custom of celebrating longevity on the ninth day of the ninth month of the *Kyūreki*, with the term *ku-nichi* or nine-day being read as *Kunchi* to mark the festival day. It is designated as an *Important Intangible Folk Cultural Property of Japan*, and its performances are characterized by an atmosphere that feels as if you are in a foreign country. The *Hōnō Odori* or dedicatory dances, which have been influenced by foreign cultures like Portugal and the Netherlands, are very powerful and memorable. Representative dances are the *Ja-Odori* or Dragon Dance, where a dragon dances beautifully, and the *Kasahoko* or floats with luxurious decorations carried by many people. The districts that perform the *Hōnō Odori* each year are called *Odori-machi* or dancing towns. Today, there are a total of 58 districts in Nagasaki City, divided into seven groups. Since they rotate through the groups over seven years, it means to take seven years if you want to see all the dances of the *Nagasaki Kunchi*.



【Ujigami: Local Guardian Deity】 The guardian deity who protects the area where one lives.

【Kyūreki: Lunar Calendar】 The calendar system that was based on the movement of the moon, as opposed to the current calendar (New Calendar) which is based on the movement of the sun.

【Important Intangible Folk Cultural Properties】 These are traditional events, customs, and practices that the Japanese government seeks to protect.

【Hōnō Odori: Dedicatory Dance】 A dance performed to express gratitude and requests to the gods.

【Kasahoko: Umbrella-Shaped Ornament】 A large, umbrella-shaped ornament used in festivals. It serves as a landmark to welcome the gods or to purify the path.

The Jidai Festival or Festival of Ages is held on October 22nd. It started as a celebration commemorating 1,100th anniversary of Kyoto becoming the capital of Japan, and it is one of Kyoto's three most famous festivals, allowing visitors to feel the rich history of Kyoto. Nearly 2,000 participants dress in historical costumes and carry antique tools, forming a procession about 2 kilometers long that parades through the streets of Kyoto. The procession is extremely spectacular, featuring figures from various eras, spanning from the Heian Period (794–1185)

all the way up to the Meiji Restoration (1868–1912). Famous figures in Japanese history, such as *Oda Nobunaga* and *Murasaki Shikibu*, also appear. The costumes and items are meticulously created based on extensive historical research, giving you the feeling like you've stepped back into that time. The Jidai Festival plays a vital role in rediscovering and passing on Kyoto's history and culture to the next generation. It is also a very important festival for preserving Kyoto's *Dentō Kōgei* and dyeing techniques.

【*Oda Nobunaga*】 A Prominent warrior leader in the 16th century.



Oda Nobunaga

【*Murasaki Shikibu*】 A woman who wrote the famous story "The Tale of Genji" (Genji Monogatari) during the Heian Period.



Murasaki Shikibu

【*Dentō Kōgei: Traditional Crafts*】 Traditional Japanese crafts made by hand using special skills passed down through generations.

The *Tori-no-Ichi* or Cock Fair is held annually in November on the Day of the Rooster, *Tori no Hi* at various *Ōtori Shrines* across Japan, which enshrine *Yamato Takeru-no-Mikoto* as their deity. People go to pray for good fortune and prosperous business. While the festival originated at *Ōtori Shrine* in Osaka, it became particularly popular in the Edo, now Tokyo area during the Edo period. The *Tori-no-Ichi* in Asakusa, Tokyo, famous for its auspicious *Engi Kumade* or lucky rakes, is affectionately known as *O-Tori-sama* and is deeply cherished.

【*Yamato Takeru no Mikoto*】 A legendary prince whose exploits are central to Japanese mythology. He is remembered as a brave warrior and a symbol of imperial authority.

【*Tori no Hi*】 A specific day represented by the sign "Tori" (Rooster), one of the traditional signs of zodiac based on the Chinese Zodiac. *Tori no Hi* means Day of the Rooster.

【*Engi Kumade*】 A rake decorated with ornaments, sold at festivals that is believed to be a tool for gathering good fortune, happiness and wealth. *Engi Kumade* means Lucky Rake.



Engi Kumade



Shrine

Information from Nerima City Regional Promotion Section

<Welcome to Information Desk at Cultural Exchange Square>

We provide all sorts of useful information in some languages for your daily life, including Japanese language classes and so on.

【Venue】 3-1-1、Hikarigaoka, Nerima City

【Telephone number】 03-3975-1252

【Open】 Weekday 10:00a.m.-1:00p.m.

Saturday, Sunday, holidays 1:00-4:00p.m.

※Closed: When Culture Exchange Square is closed, and the end of year and new year holidays.

【Languages】 English : Tue. Thu. Sat. Chinese: Wed. Fri. Sun.

Korean : Mon. ※Please make inquiries for other languages.

<Please visit the Information Desk at Nerima City Office>

Counseling service in English, Chinese, Korean, Tagalog and Japanese is available at Nerima City Regional Promotion Section. Counseling on phone is also available.

【Venue】 Regional Promotion Office, 9th floor of Nerima City Main Building

6-12-1, Toyotamakita, Nerima City

【Telephone Number】 03-5984-4333

【Open】 1:00p.m.-5:00p.m.

【Languages】 English : Mon.~Fri. Chinese : Mon.~Fri.

Korean : Fri. Tagalog : Mon.

※For other languages, please make inquiries.

We hold events where Japanese and foreigners can interact with each other.

For more information

【Nerima City Official HP】

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/gaikokunohitomuke/bunka.html>

【QR】



Nerima City Office
Regional Promotion Section
〒176-8501 6-12-1, ToyotamaKita,
Nerima, 9th floor,
Nerima City Main Building
Phone: 03-5984-4333
Email: CHIIKI17@city.nerima.tokyo.jp

Edited by Nerima Cultural
Exchange Square
(Hikarigaoka3-1-1)
Staff: Takahara Susumu (English)
Sato Yukie (Chinese)
Kim Minhee (Korean)

2025 年秋号

多言语情报支援员（英语担当）

高原 進



日本著名的秋祭

日本的秋天，空气清新，是心情舒畅气候宜人的季节。秋季庆典是自古以来一直延续的活动，很多都包含了收获时对神明的感激之情，在全国各地举办。能够体验到当地独特的传统和文化，深受当地人和游客的喜爱。因此这期介绍能够感受到这种季节的全国的秋季庆典。9 月的岸和田だんじり祭り、10 月的长崎くんち、京都的时代祭、11 月的东京西の市。请从各自的庆典中享受日本的秋天。

「岸和田だんじり祭り」开始于江户时代（1603 年～1868 年）中期、1703 年、为了祈祷**五穀豊穰**，是大阪岸和田市持续了 300 年以上的秋季庆典。2025 年 9 月 13 日和 14 日举行了。戴着扭绞头巾，穿着祭典法被盛装的年轻人精神抖擞地拉着重达 4 吨的だんじり在城中奔跑。大家都在关注在だんじり上面（地上約 4 m）双手拿着「扇子」跳舞的木匠（**大工方**）。一边跳跃一边改变身体方向，张开双臂单脚站立的「坐飞机」不容错过。だんじり在交叉路口直角转弯，一边转动车轮一边快速旋转だんじり前进的技巧最令人兴奋。



戴着扭绞头巾、穿着祭典法被的装扮

【だんじり】 庆典的时候，在城里牵引着的又大又漂亮的木头车。精细的雕刻非常豪华。

【五穀豊穰】 期望米和麦子等农作物繁茂成长，大家不会因为食物而发愁。

【大工方】 庆典时坐在木车上，敲击太鼓，向大家发出信号，担任非常重要角色的人物。从前，由制作木车的人坐在上面，因此而得名。

长崎くんち，是长崎的**氏神**「諏訪神社」的秋季庆典，每年10月7日开始的3天，由居民合作举办的大型庆典。1634年，有两位女性在神明前跳了舞蹈来表达感激之情，据说是长崎くんち的开始。くんち，源于**旧曆**9月9日中国有祝愿长寿的风俗习惯流传而来。9日的发音为「くんち」，被作为节日。被定为日本**重要的非物质文化遗产**，其特征是让人们感觉好像身处外国一样。受到葡萄牙和荷兰等外国文化影响的「**奉納踊**」，美丽的龙舞，很多佩戴着**傘鉾**豪华装饰的人们行走，非常震撼心灵。那一年决定举办「奉納踊」的城市称为「踊町」。现在长崎市内共有58个城市，分为7组。轮流一回需要7年，所以观赏全部的长崎くんち需要7年。

【**氏神**】自己住的地方的守护神。

【**旧曆**】现在的日历（新历）是根据太阳的运行制作的，而旧历是根据月亮的运行制作的。



【**重要的非物质文化遗产**】国家想要保护的那些从日本古代延续至今的重要的活动和习惯。

【**奉納踊**】满怀真诚地向神明表达感谢和拜托之情而跳的舞蹈。

【**傘鉾**】庆典时使用的大伞形状的装饰物。作为迎接神明的标记和净化道路而使用。

时代祭，在10月22日举行。是为了纪念京都作为首都1100年而开始的。感觉到京都历史的有名的三大庆典之一，大约2000人，身穿古代的服装和道具，排着2公里的长队在京都街道上行走。队伍里，从平安时代（794年～1185年）到明治时代（1868年～1912年），各个时代的人都出来了，非常鲜艳豪华。**織田信長**和**紫式部**等日本历史上著名的人物也出现了。服装和道具都是详细地调查了历史而制作的，感觉就好像在那个时代一样。时代祭，有着重新认识京都的历史和文化，向下一个时代传达的重要作用。另外，还是保护京都**伝統工芸**和染织品工艺的重要庆典。

【**織田信長**】16世纪的代表性军事领导人。

【**紫式部**】平安时代写下著名小说【源氏物语】的女作家。

【**伝統工芸**】自古以来在日本使用特殊技艺手工制作的物品。



紫式部

織田信長

「酉之市」是每年11月**酉の日**，在日本各地以**日本武尊**为神的鹫神社（おおとりじんじゃ）举办的。祈祷「运气好」「生意顺利」。从大阪的大鸟神社开始，但是从江户时代开始，在江户（现在的东京）周边地区盛行起来。**縁起熊手**非常有名的东京浅草酉之市被称为「おとりさま」，深受人们喜爱。

【日本武尊】 日本古代强大勇敢的王子。打败很多敌人保护国家的人

【酉の日】 从前的日历用十二生肖表示，**【酉】** 表示的日期

【縁起熊手】 庆典时出售的带有装饰的耙子，被认为是收集幸福和金钱的工具。



縁起熊手



神社

事业推进系通知

＜请利用文化交流广场信息角＞

用多种语言为外国人提供学习日语和生活信息

【地址】练马区光丘 3-1-1

【电话】03-3975-1252

【开设时间】平日的上午 10 点～下午 1 点

星期六 日 假日的下午 1 点～4 点 年末年始文化广场休馆

【对应语言】英语：星期二 星期四 星期六

中文：星期三 星期五 星期六

韩国语：星期一 ※其他语言请先与我们联系

＜外语咨询窗口为您服务＞

地域振兴课事业推进系可以用英语、中文、韩语、菲律宾语、日语为您提供咨询服务，并接受电话咨询。

【地址】地域振兴课（练马区役所本厅 9 楼） 练马区丰玉北 6-12-1

【电话】03-5984-4333

【开设时间】平日下午 1 点～5 点

【对应语言】英语：星期一～星期五 中文：星期一～星期五

韩语：星期五 菲律宾语：星期一

※ 其他语言请先与我们联系

＜日本人与外国人定期举办交流会 详情请见下＞

【区公式 HP】

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/gaikokunohitomuke/bunka.html>

【QR】



练马区地域振兴课事业推进系

〒176-8501 练马区丰玉北 6-12-1

练马区役所本厅 9 楼

电话：03（5984）4333

e-mail: CHIKI17@city.nerima.tokyo.jp

编辑：文化交流广场

（光丘 3-1-1）

多语言情报支援员

高原 進（英语担当）

佐藤 雪恵（中国语担当）

金 民熙（韩国语担当）

2025 년 가을호
다언어 정보 지원원(영어 담당)

다카하라 스스무

다이쿠가타



일본의 유명한 가을 축제

단지리 일본의 가을은 공기가 맑고 쾌적한 날씨와 기온을 즐길 수 있는 계절입니다. 가을 축제는 예로부터 이어져 온 행사로, 주로 수확에 대한 감사의 마음을 담아 전국 각지에서 열립니다. 지역 특유의 전통과 문화를 맛볼 수 있으며, 현지인과 관광객들에게도 친숙합니다. 그래서 이번에는 그런 계절을 느낄 수 있는 전국의 가을 축제를 소개합니다. 9 월에는 키시와다 단지리마츠리 岸和田だんじり祭り, 10 월에는 나가사키 쿤치 長崎くんち, 교토의 지다이마츠리 時代祭, 11 월에는 도쿄에서 열리는 토리노이치 酉の市입니다. 각 축제에서 일본의 가을을 즐겨 보세요.



네지리하치마키를 두르고 핫피를 입은 모습

「키시와다 **단지리**마츠리」는 에도시대(1603 년~1868 년) 중기인 1703 년에 **오곡풍요**를 기원하는 마음으로 시작되었다고 전해지며, 오사카 키시와다시에서 300 년 이상 계속되고 있는 가을 축제입니다. 2025 년은 9 월 13 일과 14 일에 열렸습니다. 네지리하치마키를 두르고 핫피를 입은 젊은들이 4 톤에 달하는 단지리를 흔들며 힘차게 마을을 질주합니다. 단지리(지상 약 4m)에서 양손에 "부채"를 들고 춤을 추는 **다이쿠가타**에 모두가 주목합니다. 뛰어오르며 몸을 회전하거나, 팔을 길게 뻗은 채 한쪽 다리로 서 있는 '비행기 탑승' 자세는 꼭 놓치지 말아야 할 명장면입니다. 특히 교차로에서 단지리를 직각으로 꺾는 '야리마와시'와 바퀴를 빼격이며 재빨리 돌리는 기술이 가장 박진감 넘칩니다.

【단지리 だんじり】 축제 기간 동안 마을을 누비며 끌고 다니는, 나무로 만든 크고 화려한 수레입니다. 세밀한 조각이 새겨져 있어 매우 정교하고 호화롭습니다.

【오곡풍요 五穀豊穰】을 기원 쌀·보리 등 곡식이 풍성하게 자라 모두가 식량 걱정 없이 지낼 수 있기를 바라는 마음을 뜻합니다.

【다이쿠가타 大工方】 단지리 축제에서 단지리 위에 올라 북을 치고, 사람들에게 신호를 보내는 등 중요한 역할을 맡은 사람들입니다. 예전에는 단지리를 만든 목수가 직접 이 역할을 맡았기 때문에 이렇게 불리게 되었습니다.



「나가사키 쿤치」는 나가사키의 **우지가미** 스와진자'의 가을 축제로, 매년 10 월 7 일부터 3 일간 마을 사람들이 펼치는 대규모 행사입니다. 1634 년 두 여성이 감사의 뜻을 담아 신 앞에서 춤을 춘 '코마이 小舞'가 이 축제의 시초라고 전해집니다. '쿤치'라는 이름은 **음력** 9 월 9 일에 장수를 기원하는 중국 풍습에서 유래했다고 알려져 있으며, 9 일(쿠니치)을 '쿤치'로 읽고 축제의 날로 했다고 합니다

이 축제는 일본의 **중요무형민속문화재**로 지정되어 있으며, 마치 외국에 온 듯한 출품이 특징입니다. 포르투갈과 네덜란드 문화의 영향을 받은 **‘호노오도리’**의 용이 아름답게 춤을 추는 '자오도리'나 화려한 장식을 한 **‘카사보코’**의 행렬은 매우 박력 있고 기억에 남습니다. 매년 ‘호노오도리’를 공연하는 마을(‘오도리쵸’)이 바뀌며, 현재 나가사키시는 총 58 개 마을이 있고 7 개 그룹으로 나뉘어 7 년에 한 바퀴씩 순환합니다. 그래서 나가사키 쿤치의 모든 춤을 다 보려면 7 년이 걸립니다.

【우지가미 氏神】 자신이 살고 있는 곳을 지켜주는 신

【음력 旧曆】 현재의 달력(양력)은 태양의 움직임을 기준으로 만들지만, 음력은 달의 움직임을 기준으로 만든 달력입니다.

【중요무형민속문화재 重要無形民俗文化財】 일본의 소중한 전통 행사와 관습을 국가가 지정·보존하는 문화재를 말합니다.

【호노오도리 奉納踊】 ‘신께 감사드립니다, 소원을 들어주십시오’라는 마음을 춤으로 표현한 것입니다.

【카사보코 傘鉾】 축제에서 사용되는 큰 우산 모양의 장식품. 신을 맞이하기 위한 표식이나, 길을 정화하기 위해 사용됩니다.

「지다이마츠리」는 10 월 22 일에 열립니다. 교토가 수도가 된 지



무라사키 시키부



오다 노부나가

1100 주년을 기념하기 위해 시작되었습니다. 교토 3 대 축제 중 하나로, 역사를 느낄 수 있습니다. 약 2,000 명의 참가자가 옛 의상과 도구를 착용하고 2km에 달하는 행렬을 이루어 교토 시내를 행진합니다.

행렬에는 헤이안시대(794 년~1185 년)부터 메이지시대(1868 년~1912 년)까지 다양한 시대의 인물들이 등장해 매우 화려합니다. **오다 노부나가**, **무라사키 시키부** 등 역사적 인물들도 볼 수 있습니다.

의상과 도구는 철저한 고증을 거쳐 제작돼, 마치 그 시대에 온 듯한 느낌을 줍니다. 지다이마츠리 時代祭는 교토의 역사와 문화를 되새기고 후대에 전하는 중요한 행사로, **전통 공예**와 염색 기술을 보존하는 데에도 큰 의미가 있습니다.

【오다노부나가織田信長】 16 세기를 대표하는 전쟁 지도자.

【무라사키시키후紫式部】 헤이안시대에 ‘겐지 이야기’를 쓴 여성 작가로, 일본 고전문학의 대표적 인물입니다.

【전통공예伝統工芸】 옛날부터 일본에서 전해 내려오는 특별한 기술로 만든 수공예품을 말합니다.

「토리노이치」는 일본 각지의 **야마토타케루노미코토** 를 신으로 하는 오토리진자에서 매년 11 월 **토리노히**에 열리는 축제로, 행운과 사업 번창을 기원합니다. 오사카의 오토리진자에서 시작되었지만, 에도시대에 이르러 에도 주변(현 도쿄)에서도 큰 인기를 끌고 있습니다. 특히 도쿄 아사쿠사의 **토리노이치**는 ‘오토리사마’라고 불리며 가장 유명합니다. 축제에서 판매되는 **엔기쿠마데** (복을 부르는 갈퀴)가 상징적이며, 이 때문에 많은 사람들이 행운을 기원하기 위해 찾습니다.

【야마토타케루노미코토 日本武尊】 옛 일본의 강하고 용맹한 왕자로, 많은 적을 물리치고 나라를 지킨 전설 속 인물입니다.

【토리노히 酉の日】 옛날 달력(십이지)에서 ‘닭’에 해당하는 날을 말합니다.

【엔기쿠마데 縁起熊手-복을 부르는 갈퀴】 축제에서 판매되는 장식이 달린 갈퀴(쿠마데)로, 행복과 재물을 끌어 모운다는 의미를 지닌 도구입니다.



엔기쿠마데



진자

사업추진계에서 알림

<문화교류광장 정보코너를 이용해 주십시오>

일본어 학습정보와 외국인을 위한 생활 정보 등을 다국어로 제공합니다.

【장소】 네리마구 히카리가오카 3 - 1 - 1

【전화】 03 - 3975 - 1252

【개설시기】 평일은 오전 10시 ~ 오후 1시

토 · 일 · 축일은 오후 1시 ~ 4시

※연말연시 등 「문화교류광장」 휴관일은 제외

【대응언어】 영어 : 화 · 목 · 토 중국어 : 수 · 금 · 일 한국어 : 월

※그 외의 언어는 문의해 주세요.

<외국어 상담창구를 이용해 주세요>

지역진흥과 사업추진계에서는 영어 · 중국어 · 한국어 · 타갈로그어 · 일본어로 여러 가지 상담이 가능합니다. 전화로도 상담을 받고 있습니다.

【장소】지역진흥과 (구청 본청사 9층) 네리마구 토요타마키타 6 - 12 - 1

【전화】 03 - 5984 - 4333

【개설일시】 평일 오후 1시 ~ 5시

【대응언어】 영어 : 월 ~ 금 중국어 : 월 ~ 금 한국어 : 금 타갈로그어 : 월

※그 외의 언어는 문의해 주세요.

일본인과 외국인이 교류할 수 있는 이벤트 등을 개최하고 있습니다. 상세한 내용은 여기로

【구공식 홈페이지】 <https://www.city.nerima.tokyo.jp/gaikokunohitomuke/bunka.html>

【QR】



네리마구지역진흥과 사업추진계
〒176 - 8501
네리마구 토요타마키타 6 - 12 - 1
네리마구청 본청사 9층
전화 03 (5984) 4333
e-mail:CHIIKI17@city.nerima.tokyo.jp

편집: 문화교류 광장
(히카리가오카 3 - 1 - 1)
다국어 지원 담당자
다가하라 스스무(영어 담당)
사토 유키에 (중국어 담당)
김 민희(한국어 담당)